

平成 29 年度 事業計画の概要

公益財団法人仙台市市民文化事業団

平成 29 年度事業の実施方針

財団設立 30 周年記念事業を継続し、締めくくりながら、その成果を検証し、今後の社会情勢を見据えた新たな事業体系や、それを実施していくための組織の在り方について検討する。運営にかかる基本指針及び指定管理提案書等に沿いながら、下記の通り事業を実施する。

- ・既存事業の総括や新規事業の開拓を進めるとともに、各事業分野において「30 周年記念事業」を実施する。また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた新規事業に取り組む。
- ・指定管理者制度や劇場法などの理念に基づき、各施設での賑わいづくりや、創造型事業のプロセスにおける市民協働・人材育成を積極的に進め、「次の 10 年」の基盤を作る。
- ・日常的な文化芸術鑑賞機会や学習機会の充実に加え、2 年度目となる「せんだい 3. 1 1 メモリアル交流館」の運営を含め、震災の記憶を後世に残す事業や被災者・地域に寄り添う事業を継続する。
- ・交流人口の拡大に向け、国内外の他地域との連携事業に力を注ぎ、東北を牽引する都市・仙台市の文化財団として機能の強化を図る。
- ・仙台市の文化振興施策と緊密に連携し、外部資金の拡充により事業体系を充実させるとともに、職員の意識、能力の向上を図り、公益財団法人として健全かつ適切な組織運営を継続する。

平成 29 年度事業の概要（経費／単位千円）

（1）支援、協働、人材育成事業

芸術表現や事業制作、学習など、市民自ら行う文化活動に対して、安全・快適で使い易い文化施設の提供をはじめとし、生涯学習の支援、広報活動の支援、事業費の一部助成、助言や協働、表現者や制作者の育成事業などを行う。

併せて、当事業実施の過程で、当事業団が自主事業を企画・実施する際に必要となる地域文化情報の把握や人的ネットワークづくり、文化的コミュニティ醸成に努める。

ア. 施設の貸出・維持管理運営及び利用者への支援・協力

- ・仙台市青年文化センター 管理運営（351,031）/No. 148
- ・泉文化創造センター 管理運営（131,035）/No. 149 ※(株)東北共立、(株)石井ビル管理とのグループ
- ・仙台市歴史民俗資料館 管理運営（67,291）/No. 100
- ・富沢遺跡保存館 管理運営（84,938）/No. 110
- ・仙台市縄文の森広場 管理運営（41,772）/No. 125

- ・仙台文学館 管理運営 (185, 750) /No. 139
- ・せんだいメディアテーク 管理運営 (605, 378) /No. 150
- ・せんだい演劇工房 10-BOX 管理運営 (26, 976) /No. 83
- ・せんだい 3.11 メモリアル交流館 管理運営 (55, 050) /No. 84

イ. 市民企画事業への広報支援・助成・協働

- ・支援・助成・協力事業 (20, 903) /No. 26
- ・東京オリンピック・パラリンピックに向けた「仙台市文化プログラム」公募・共催事業 (9, 030) /No. 65

ウ. ボランティア、地域、教育機関等との協働

- ・イズミティ 21 市民協働ロビーイベント (511) /No. 37①
- ・仙台国際音楽コンクールボランティア運営 (2, 101) /No. 79
- ・各ミュージアムボランティア運営 /No. 116 ほか
- ・各ミュージアム 教育機関や地域との連携事業 /学校・地域連携促進事業 /No. 91 ほか

エ. 人材育成

- ・(30周年記念事業) せんだい・アート・ノード・プロジェクト LECTURES/レクチュアズ (4, 700) /No. 21
- ・(30周年記念事業) 東京芸術大学音楽学部早期教育プロジェクト in 仙台 (1, 565) /No. 20
- ・舞台スタッフ☆ラボ (1, 623) /No. 54
- ・からだとまなぶ・身体表現ワークショップ (848) /No. 56
- ・せんだい短編戯曲賞 (1, 854) /No. 57
- ・仙台ジュニアオーケストラ運営 (24, 239) /No. 82

【東京芸術大学音楽学部早期教育プロジェクト in 仙台】11月(30周年記念事業)

東京芸術大学と地域との協働による逸材発掘プロジェクト。当年度はピアノ部門、ヴァイオリン部門、木管楽器部門の3部門を開催。講師となる藝大音楽学部教員や藝大生による無料コンサートも併せて実施。

【せんだい 3.11 メモリアル交流館 管理運営】通年

仙台市の東日本大震災メモリアル施設として地下鉄東西線荒井駅舎に併設され、平成28年2月に開館した当施設を、平成28年4月より仙台市まちづくり政策局からの委託事業として管理運営開始。開館以来国内外からの視察も含め、入館者は8万人を超える。管理運営2年目となる当年度は、交流スペース事業等を実施しながらさらに地域との交流を深める。

【東京オリンピック・パラリンピックに向けた「仙台市文化プログラム」公募・共催事業】通年

2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、前年度に仙台市との共催で公募した、地域の文化芸術分野におけるさまざまな資源による「仙台市文化プログラム」の企画提案の中から、当年度は実際に実施する提案を選定し、複数年をかけ事業として推進していく。この機会をとらえ、仙台市に新しい文化的成果を生み出すこと、そしてその取り組みが一過性にとどまることなく、オリンピック・パラリンピック終了後も地域の「レガシー(文化遺産)」として、末永く継承されていくことを目指す。

(2) 普及、啓発事業

主に文化芸術の鑑賞層を対象とし、芸術や文化全般の魅力を広く普及していくための事業を幅広く展開し、アーティストや制作者を支える観客・サポーターやスポンサーの裾野を広げる。

当事業団ならではの特色ある公演や企画展、文化講座や体験ワークショップ、教育・福祉・まちづくりの現場に「芸術の力」を届けるアウトリーチ事業、文化情報誌の編集・発行やホームページ運営などの広報事業、イベント鑑賞友の会の運営などを行い、前掲(1)の市民文化活動支援と併せ双方で事業を展開することにより、地域文化の総合的な底上げを図る。

ア. 鑑賞公演

- ・(30周年記念事業) ロシア国立ボリショイ・バレエ「白鳥の湖」仙台公演 (28,450) /No. 2
- ・(30周年記念事業) 舞台「ある芸術家の生涯」(3,654) /No. 7
- ・(30周年記念事業) 奈良岡朋子 一人芝居「黒い雨」(2,083) /No. 4
- ・宝塚歌劇雪組仙台公演 (27,392) /No. 28
- ・仙台クラシックフェスティバル 2017 (80,362) /No. 29
- ・古典芸能【仙台青葉能、文楽公演、能-BOX 経常事業、市民能楽講座等】(5,721) /No. 34、53、58
- ・新春いずみ寄席 (3,193) /No. 33
- ・ライブ文学館 (1,420) /No. 49
- ・劇場・音楽堂等活性化事業【オーケストラ・スタンダード、小中学校オーケストラ鑑賞会、こまつ座公演他】(101,306) /No. 35

イ. 展示事業

- ・(30周年記念事業) 夏目漱石生誕 150 周年記念「夏目漱石とその周辺の人びと」(仮) (305) / No. 13
- ・歴史民俗資料館 特別展「Winter Life in Sendai～仙台の冬の暮らし」(1,739) /No. 104
- ・富沢遺跡保存館 特別企画展「森と人の考古学」(仮) (2,218) /No. 113
- ・仙台文学館 特別展「イラストレーター 安西水丸展」、「上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展」(7,706) /No. 141、143
- ・歴史民俗資料館 企画展 (1,755) /No. 102、103
- ・富沢遺跡保存館 企画展 (211) /No. 112, 114, 115
- ・縄文の森広場 コーナー展示 (49) /No. 127
- ・仙台文学館 企画展 (2,397) /No. 144

ウ. 講座・ワークショップ等

- ・各ミュージアムでの講座・ゼミナール・ワークショップ /No. 89、105、116 ほか
- ・ホール見学会 (イズミティ 21) /No. 37②

エ. アウトリーチ

- ・学校・地域アウトリーチ事業 (1,500) /No. 67
- ・芸術家派遣事業 (0) /No. 66 ※実行委員会に加盟し事務局を運営

オ. 文化芸術情報の提供・広報

- ・広報事業 (5,120) /No. 72
- ・事業団友の会運営 (3,160) /NO. 73

【ロシア国立ボリショイ・バレエ「白鳥の湖」仙台公演】 6/16 (30周年記念事業)

27年ぶりの来仙となるバレエの殿堂ボリショイ・バレエ団の公演。三大バレエの1つ、「白鳥の湖」を上演。河北新報社と共催。

【宝塚歌劇雪組仙台公演】 9/2～3

仙台市民はもとより広域からの来場者で賑わう宝塚歌劇公演の東北拠点となる仙台公演。2日間4ステージで、第1部ミュージカル。第2部レビューを上演。

【仙台クラシックフェスティバル 2017】 9/29～10/1

仙台の秋の風物詩として定着した仙台クラシックフェスティバル。12回目を迎える今回は、仙台国際音楽コンクール入賞者と仙台フィルゆかりの出演者の共演など、事業団ならではの企画を盛り込んで開催。地下鉄駅構内や街なかでのコンサート、出演者が病院などに出向いて行うコンサートなども同時に開催し、仙台市内にクラシック音楽が溢れるフェスティバルとする。

【夏目漱石生誕 150 周年記念「夏目漱石とその周辺の人びと (仮)」】 11/3～14 (30周年記念事業)

夏目漱石生誕 150 年を記念し、漱石とその周辺の人々の紹介と関連資料を展示。漱石文庫を所蔵する東北大学附属図書館と共催。

(3) 交流、創造、発信事業

仙台圏と他の地域の人材が交流し、共通認識を持って協働していくと共に、長期的継続も視野に入れながら、作品や事業を作りあげ、広く社会に成果を発信していく。

参加者・関係者・観客などの立場で事業に関わり触発された若い人材が、年月を経て指導者やプロデューサーとなり、次の若い人材を励まし育てていくような世代循環の流れも重視しながら、地域文化リーダーの育成やコンテンツの創造、都市間交流、都市ブランドの醸成など、さまざまな成果を期待し、市民協働・プロデュース型事業を推進する。

ア. 顕彰制度・コンクール等

- ・第7回仙台国際音楽コンクール運営事業 (47, 479) /No. 75～81
- ・(再掲) せんだい短編戯曲賞 /No. 57
- ・ことばの祭典－短歌・俳句・川柳への集い (464) /No. 88
- ・土井晩翠顕彰会の支援 (晩翠わかば賞・晩翠あおば賞) (0) /No. 94

イ. プロデュース公演・企画公演・展示事業

- ・(30周年記念事業) タイ王立舞踊団招聘公演 (8, 838) / No. 1
- ・(30周年記念事業) オリジナルミュージカル「仙台ねこ」(15, 385) /No. 5
- ・(30周年記念事業) 芝能とニッポン文化フェスティバル (6, 015) /No. 8
- ・(30周年記念事業) 戯曲賞関連上演 (3, 050) /No. 3
- ・(30周年記念事業) あつまれ! 仙台の伝統芸能 (3, 500) /No. 14
- ・(30周年記念事業) ミュージウム・シアター「狩人登場」(1, 200) /No. 12
- ・(30周年記念事業) 縄文祭復元事業 (1, 670) /No. 15
- ・(再掲) 仙台クラシックフェスティバル 2017 /No. 29
- ・せんだい・アート・ノード・プロジェクト (30, 000) /No. 96
- ・メディアテーク「調査と表明 (1) (2)」(19, 610) /No. 97、98
- ・(再掲) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた「仙台市文化プログラム」公募・共催事業

ウ. グッズ製作・出版

- ・(30周年記念事業) 『コミュニティ・アーカイブのつくりかた』出版&記念フォーラム (3, 100) /No. 22
- ・(30周年記念事業) RE:プロジェクト記録集出版事業 (2, 150) / No. 23
- ・ミュージウムグッズ開発・販売 (1, 452) /No. 52

【タイ王立舞踊団招聘公演】5/26～28 (30周年記念事業)

日・タイ修好130周年、仙台市とタイの観光交流協定締結10周年を記念し、タイから王立舞踊団を招聘。公演の他、様々な文化交流事業を同時開催。

【オリジナルミュージカル「仙台ねこ」】8/19～20 (30周年記念事業)

「仙台」と「ねこ」をテーマに創作したオリジナルミュージカル。公募による100人を超える市民の出演と、募集した「ねこ」に関するエピソードを台本に採用し、平成28年度から1年間のレッスンを経ての舞台。作・演出・振付：梶賀千鶴子 音楽：日高哲英

【芝能とニッポン文化フェスティバル】9/16 (30周年記念事業)

卸町公園を舞台に本格的な能楽の野外公演と日本の伝統的な音楽の公演を実施。古典芸能および伝統芸能の素晴らしさを伝える。

【やなぎみわステージトレーラープロジェクト「日輪の翼」仙台公演】9/23 (30周年記念事業)

現代美術家やなぎみわによる演劇プロジェクト。雄勝法印神楽との共演などを通して、東北の復興を目指す。

【あつまれ! 仙台の伝統芸能】11/3 (30周年記念事業)

毎年恒例の「れきみん秋祭り」のうちの一日に、日頃は仙台市各地域でしか見ることのできない伝統芸能を集め、野外舞台で披露するお祭りとして開催。

【RE:プロジェクト 記録集出版事業】(30周年記念事業)

平成23年度から27年度まで展開し、成果を得た「RE:プロジェクト」の5か年分の記録集を出版する。

【せんだい・アート・ノード・プロジェクト】通年

優れた現代アートの持つ発見性、吸引力、発信力を活用しながら、市民とともに地域が抱える課題に向き合うアートプロジェクトを展開する。当年度は、3か年スパンの1期の2年度として、アーティストによるアーティスト・イン・レジデンスや地域における拠点づくりなどの事業と、これらに伴う情報発信やアーカイブを行う。

【『コミュニティアーカイブのつくりかた』出版&記念フォーラム】(30周年記念事業)

震災後実施してきた市民協働アーカイブ事業「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の活動記録をまとめ、事業を通じて得られたノウハウや成果、課題を共有し、次の世代に継承するために書籍を出版する。併せて出版記念フォーラムを開催。

(4) 調査・研究/資料収集・保管/基盤整備等

文化芸術における分野ごとの調査や研究、ミュージアム常設展などを支える資料収集と保存、財団全体の事業進行管理・調整・評価・内部研修など、事業全体の成果向上のため必要となる総合的な事業を行う。また、震災の記憶を風化させないための記録プロジェクトを継続する。

ア. 調査・研究

- ・歴史民俗調査研究・報告(704)/No.108
- ・考古学調査研究・報告の刊行(190)/No.117
- ・地底の森ミュージアム遺構分析調査(345)/No.120

イ. 資料収集・保存

- ・歴史民俗資料収集(1,919)/No.107
- ・文学資料収集・保管(3,360)/No.146
- ・メディアテークライブラリー運営等(9,621)/No.151
- ・地域文化アーカイブ(1,701)/No.98②
- ・せんだいメディアテーク震災アーカイブ運営(14,950)/No.86

ウ. 内部評価・制作管理・職員研修他

- ・管理運営施設(全施設対象)利用者アンケート、職員研修 /No.74